



玉川学区住民福祉活動計画

いたわり  2010~2012 たすけ 

地域で生活をしていくには、そのまちが住みよい、安全・安心な**まち**を誰もが望んでいます。でも、住みよいまちとは誰かが与えてくれるものではありません。「安全・安心に暮らし、温もりがある**まち**」「高齢者・障害者が住みやすく、子どもを健全に育み、支えあう仲間、住民がいる**まち**」ではないでしょうか。



住みよいまちは、住民自身が絶えまない努力により、住民同志が支えあって玉川地域の福祉力を高めることが、住みよいまちづくりの基礎となります。玉川学区社会福祉協議会は、住民同志の見守りや助け合いの気持ちに溢れる福祉のまちづくりのために、また、人間性に溢れる豊かな福祉社会の実現を目指して、3年間にわたって、活動を展開していきます。

安全・安心

平成22年3月
玉川学区社会福祉協議会
草津市社会福祉協議会

まちづくり

～玉川学区社会福祉協議会における住民福祉活動とは～



生活課題・福祉課題的確な把握・福祉座談会の開催 (町内会単位)
 地域住民との座談会を開いて、意見交換を重ねながら、それぞれの町内会の生活課題・福祉課題の把握と学区社協への要望を把握し改善策を講じていきます。



高齢者福祉活動

誰もが迎える老いに対して最後まで、その人らしく生きていく為に「地域との共生」は必要不可欠な課題であり、その解決のために次の活動を行います。

- ①高齢者ふれあいサロンの開催と、充実
- ②町内会単位で実施する自主的な地域サロンへの支援
- ③学区敬老会の開催



福祉委員活動の推進と担い手づくり

福祉委員組織の整備と強化、福祉委員の役割分担を明確化し、団塊の世代を中心とした人材の発掘をし、体験学習・研修等を実施し担い手の育成・資質の向上を図ります。



安全・安心な住みよいまちを
 男女・年齢を問わず高めよう地域の福祉力

重点目標

ボランティア活動の推進

誰もが安心して暮せるまちづくりのために活動の充実を図ります。

- ①地域環境美化活動の実施
- ②見守り活動、支援活動
(お手伝い、お助け隊)
- ③ボランティアサークルへの助成



障害者福祉活動

障害者団体と交流を図り、活動のニーズを掘り起こし具体的な活動を展開します。



子育て・児童福祉活動への支援

- ①子ども会の活動への支援
- ②地域協働合校事業への支援
- ③子育てサロンへの支援



町内会福祉ネットワーク活動の推進

- ①防犯、防災、減災の支援体制の整備と講習会の開催
- ②コミュニティサロン(住民交流の場)への支援



広報啓発の推進

地域住民に社会福祉協議会の活動を、わかりやすく情報提供を行い「玉川社協だより」を年3回以上発刊します。



住民福祉活動計画策定の取り組み

玉川学区社会福祉協議会は、草津市社会福祉協議会が策定した草津市地域福祉活動計画を受けて住民の地域福祉活動の指針となる学区住民福祉活動計画策定のモデル学区として、今年度取り組んでまいりました。

活動理念（スローガン）「安全・安心なまちづくり」をもとに地域福祉懇談会を催し、総務委員会、先進地研修を終えて、地域の福祉課題の解決に向けて協議を重ね策定しました。

地域福祉懇談会

開催日	内容
平成19年11月2日	明るく誰もが安心して住める玉川学区をつくるために
平成20年11月28日	一人ひとりが安心して暮らすために地域で出来ることは何か、福祉活動(委員)が、具体的な活動が出来るために、どうすればよいか
平成21年10月14日	「誰もが安心して住める玉川学区をつくるために」

策定の経緯



開催日	内容
平成21年7月23日	総務委員会
平成21年12月21日	総務委員会
平成22年1月25日	総務委員会
平成22年2月1日	策定委員会
平成22年2月24日	総務委員会

